

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう 2022 年度秋季入学試験の変更点 (2)

一橋大学大学院言語社会研究科

2021 年 9 月 2 日

【1】2022 年度秋季入学試験での対応

新型コロナウイルス感染症拡大の情勢を踏まえ、2022 年度秋季入学試験では以下のとおりの対応を行います。(7月28日付掲示と同内容ですがより詳細にお知らせします)。

修士課程秋季入試では、原則として国立キャンパス試験場で、十分な換気を行うなど感染症拡大防止策を取った上で第1次試験(筆記試験)および第2次試験(口述試験)を実施します。日本へ入国・帰国する方は、待機期間がありますので、第1次試験(筆記試験)実施日の2週間前までに上陸していることが必要となります。

●修士課程第1部門および第2部門入学試験

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、下記(1)～(3)の理由で第1次試験(筆記試験)もしくは第2次試験(口述試験)を受験することができない場合、または下記(4)の場合は、速やかに(遅くとも試験当日の試験開始時刻までに)メールにて、言語社会研究科事務室に連絡してください。

- (1) 法令等に基づく命令、要請等により日本国へ上陸及び移動が制限された場合
- (2) 新型コロナウイルスに感染し、治癒していない場合
- (3) 37.5度以上の発熱等の体調不良がある場合
- (4) 新型コロナウイルスの濃厚接触者と認められる場合

(1)の理由による場合は、検定料の返金の可否を検討します。政府機関等からの通知文書、当該機関ウェブサイトの URL など、証明できる情報を提出してください。

(2)および(3)の理由による場合は、代替措置の実施の可否を検討します。試験当日の日付を含む医師の診断書を後ほどご提出ください。なお、37.5度未満の発熱や、咳・のどの痛み・下痢の症状がある場合には、別室受験とする方針ですが、症状が重いと判断される場合などには、当日の受験を取り止めていただいた上で、代替措置を講ずる予定です。

(4)の場合は、濃厚接触者と判断した保健所の名称、その連絡日、不要不急の外出を自粛する保護観察期間をご連絡ください。要件を満たした上での受験(詳細は対象者に連絡)、もしくは代替措置の実施の可否を検討します。

●第1次試験（筆記試験）当日の対応

受験当日、マスクを着用して来学してください。また、建物への入館前に、間隔をあけて、順番に検温を受けてください。なお、検温前の入館は認められず、控室も用意しておりません。一旦検温が済んだ受験者は、印を付けた受験票を示すことで入館が可能です。外出する場合には必ず受験票を持参してください。

試験会場の建物への入館を開始する時刻は以下の通りです。最初に受験する科目の時刻をご確認ください。

第1部門の第二外国語：8時30分

第1部門の第一外国語および第2部門の外国語・日本語：9時50分

両部門の論文：12時50分

●第2次試験（口述試験）当日の対応

受験当日、マスクを着用して来学してください。また、検温を行いますので、面接試験時間の30分前に試験会場の建物にお越しください。

【2】例外的措置の可能性

新型コロナウイルス感染症の一層の拡大傾向により、大学への入構が禁止される等の事態に至った場合、以下のような入試方法の変更を検討します。

第1次試験（筆記試験）を実施せず、書類選考に変更する可能性があります。その際は、募集要項に書かれている提出物に基づき、選考を行います。

第2次試験（口述試験）をオンラインで実施する可能性があります。試験時間内に外国語試験（外国人留学生は日本語）を実施します。試験を行う外国語は、志願票と研究計画書等の出願書類を参考に入試委員会が決定します。

<連絡先>

一橋大学大学院言語社会研究科事務室 (lan-km@ad.hit-u.ac.jp)